

平成 22 年度事業報告について

平成 22 年度は、生涯学習部門・文化振興部門及び男女共同参画部門の各事業の一層の充実を図り、県民の認知をさらに高めるため、次の事業を実施した。

生涯学習部門については、県民に対して様々な学習情報を総合的に提供するとともに、地域の生涯学習施設や主体的に学習活動を実施する団体等との連携を強化したほか、子どもの健全育成を図るための学習活動を推進した。また、「山形学」や「仙人講座」の開催等、地域に根ざした生涯学習活動の支援に関する事業を展開した。

文化振興部門については、やまがた文化の再発見、創造による『文化力』の向上を目指し、新たな文化の創造や芸術文化にふれる機会の拡充を図るとともに、文翔館をステージとする多様な芸術文化事業を実施し、県民文化活動の一層の振興を図った。

男女共同参画部門については、男女共同参画社会形成に関する県民の活動を総合的に支援していくため、各種研修会を開催して人材の育成を図るとともに、団体・グループ活動の支援、相談への対応、情報の収集・提供等の事業を実施した。

施設管理部門については、指定管理者として管理運営を行い、より一層の運営の効率化と県民サービスの向上に努めた。

これらのため、次の事項を中心に事業を推進した。

- 1 総合的な学習情報の提供
- 2 主体的な生涯学習活動への支援・連携
- 3 県民主体の学習機会の提供
- 4 本県文化力の向上を目指した文化事業の全県的展開
- 5 文化振興拠点としての文翔館の活性化に向けた事業
- 6 男女共同参画社会を形成するための事業の展開
- 7 施設の利用促進と県民サービスの向上

会	議	
第1回評議員会	平成22年6月4日(金)	遊学館特別会議室
第1回理事会	平成22年6月4日(金)	遊学館特別会議室
第2回評議員会	平成23年3月11日(金)	遊学館特別会議室
第2回理事会	平成23年3月11日(金)	遊学館特別会議室

「遊学館」の利用実績

遊学館全体の平成22年度の開館日数は295日(前年度296日)で、延べ262,431人(前年同期260,048人)が利用した。1日平均では925人で、開館以来の利用者数累計は6,586,368人である。

うち、生涯学習センターは、延べ47,155人(前年同期46,427人)が利用し、1日平均では160人で、開館以来の利用者数累計は1,047,308人となっている。

また、男女共同参画センター「チェリア」は、延べ7,999人(前年同期5,803人)が利用し、1日平均では27人となっている。

郷土館「文翔館」の利用実績

平成22年度の開館日数は335日(前年度322日)で、延べ137,156人(前年同期135,980人)が利用した。1日平均では409人で、平成7年10月の開館以来の利用者数累計は2,298,059人となっている。

平成 22 年度事業実績

生涯学習部門（山形県生涯学習センター）

【自主事業】

1 総合的な学習情報の提供

(1) 調査・資料収集事業

学習情報紙発行事業

県、市町村、高等教育機関、各種学校、民間団体等の学習提供機関が広域的に実施している連続講座の情報を文書（まなびの情報調査）とインターネット（山形県生涯学習文化財団 web サイト）を活用して収集し、県民に対し「やまがたマナビカレッジ」学習情報紙として、年 3 回発行した。

- ・発行部数：18,000 部 × 年 3 回
- ・発行月：5 月（春号）、7 月（夏号）、10 月（秋号）

ICT 学習素材収集整備事業

県内各地域から地域学関連を中心に学習素材となりうる映像を収録編集し、インターネット上で公開した。

学習情報収集・提供事業

ア 生涯学習データベース運営事業

県内の生涯学習を推進するため、県民が利用できるインターネット上の生涯学習データベース（指導者・施設・団体グループ情報）を運営し、情報提供を行った。

- <登録数>
- ・指導者 1,600 件
 - ・施設 2,142 件
 - ・団体グループ 1,240 件

<アクセス件数> 4,442 件

イ 学習相談事業

県民の生涯学習を推進するため、講師・活動グループの紹介、生涯学習や地域に関する詳細情報の提供など、幅広い生涯学習相談に応じた。

- ・相談件数 55 件

ウ 学習情報コーナー等運営事業

県民の自主的・自発的な学習活動を支援するため、遊学館 1 F 「情報コーナー」と放送大学の情報コーナーを活用して学習情報を提供した。

また、「イベントカレンダー」として、遊学館内の催し物情報や県内のイベント情報を提供した。

エ インターネット広報事業

財団の事業及び県内の生涯学習・文化活動を推進するため、ホームページ「遊学館 & 文翔館」サイトによる広報活動・情報発信を行った。

- ・財団ホームページアクセス件数 47,348 件

また、県内の学習や文化の情報を県民及び全国に発信するため、インターネットの電子メールを活用した総合情報メールマガジン「遊学スクエア・マガジン」を発行した。

- ・22年度発行号数 24号（延べ発行号数 238号 臨時休号を含める）
- ・22年度合計読者数 634名

長寿社会情報ネットワーク推進事業

明るい長寿社会づくり連絡協議会関連事業を推進するための全国会議や北海道・東北ブロック会議へ出席したほか、仙人講座等の講座内容の一部をホームページに掲載するなど、ホームページを活用し、高齢者の生きがい健康づくりや社会参画に関する情報の提供を行った。

- ・全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会（年2回）

日時：平成22年7月15日（木） 於：東京都 出席者：2名

日時：平成23年2月22日（火） 於：東京都 出席者：2名

- ・北海道・東北ブロック明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会

日時：平成23年2月1日（火）～2日（水） 於：宮城県松島町 出席者：2名

シニア仲間づくり応援サイト運営事業

シニアの方々の社会参画・仲間づくりを支援するため、シニア仲間づくり応援サイト運営し、県内で自主的に生き生きと活動しているシニア世代の皆さんの活動の情報を収集提供した。

- ・登録件数 168件

2 主体的な生涯学習活動への支援・連携

(1) 講座・セミナー・育成事業

生涯学習支援者育成事業

ア 社会教育関係職員パワーアップセミナー

社会教育・生涯学習関係部署の初任者を対象に、住民の学習ニーズに対応した学習機会を提供できるよう生涯学習社会の推進に必要な基礎的知識・技能についての研修を県生涯学習振興課と連携して実施した。

日時：平成22年6月2日（水）～6月4日（金） 於：遊学館 受講者 72名

講師：廣瀬 隆人氏（宇都宮大学教授）

金澤 和子氏（山形県男女共同参画センター館長）

イ 生涯学習能力スキルアップセミナー IN 庄内！

市町村社会教育・生涯学習関係職員や生涯学習関係団体（NPO）等関係者を対象に、社会教育・生涯学習職員等として職務を遂行していく上で必要な知識や技能についての研修を行う。

特に、今回は庄内地区の関係職員等を対象に講座を開催し、社会教育・生涯学習とまちづくりの関係や地域住民とのネットワークをつくるプログラムとした。

日時：平成22年10月18日（月） 於：庄内総合支庁講堂 受講者 46名

内容：社会教育・生涯学習基礎講座＜講義とワークショップ＞

社会教育・生涯学習・まちづくりの関係

公民館・コミュニティーセンターの役割

地域の人とのネットワークをつくろう

講師：廣瀬 隆人氏（宇都宮大学教授）

ウ 山形県生涯学習コーディネーション能力開発講座

県の生涯学習・社会教育の振興を図るため、生涯学習事業の企画立案と運営ができる力と、組織化を支援する能力を身につけ、団体の活性化並びに地域社会における様々な場面でのコーディネートができる人材を育成するための講座を実施した。

事業の企画・運営、編集、事後検証のための実行委員会の開催

事業を通して参集したメンバーを中心とした実行委員会を組織し、今年度の円滑な事業執行のために具体的な企画と運営を行った。

山形県生涯学習コーディネーション能力開発講座

・実施期間：平成22年5月29日（土）～11月14日（日）【年8回】

・会場：鶴岡市・酒田市・遊佐町ほか

・受講修了者 34名 実行委員会 12名

開催内容

【グループづくり】

第1回 5月29日（土）開講式・オープニングワークショップ

第2回 5月30日（日）ワークショップ・公開シンポジウム

【プログラムづくり】

第3回 6月19日（土）まちづくり事例発表・プログラムシュミレーション

第4回 6月20日（日）卒業生体験発表・グループワーク

【7月～9月 グループごとのトライアル事業】

【ふりかえり】

第5回 10月16日（土）グループでのふりかえり

第6回 10月17日（日）ふりかえりのワーク・公開シンポジウム

【ふりかえり】

第7回 11月13日（土）グループでのふりかえり

第8回 11月14日（日）トライアル資料の整理・一般化のためのワーク・まとめ

子どもを育む生涯学習活動推進事業

生涯学習の見地から子どもの健全育成を図るための学習活動を推進する事業を実施した。

ア 子どもの読書活動推進事業

子どもの読書活動の推進を図るため、読み聞かせボランティアを対象とした研修事業を実施することにより、その資質の向上を図るとともに交流や情報交換を通してネットワークを構築、強化した。

読み聞かせボランティア研修講座及び絵本に関する講演会の実施

読み聞かせボランティアや学校図書館及び公立図書館担当者を対象に、県内2地域での研修会と遊学館での講演会を実施した。

～ 読み聞かせボランティア研修講座・置賜会場～

日時：平成 22 年 8 月 27 日（金） 10：00～12：00

会場：南陽市中央公民館 大会議室

講師：加藤 美穂子 氏（一般社団法人子どもの読書サポートアシード代表理事）

内容：読み聞かせマラソン in 置賜！

第 1 部 読み聞かせマラソン

第 2 部 フォローアップ

受講者：28 名

～ 読み聞かせボランティア研修講座・庄内会場～

日時：平成 22 年 11 月 26 日（金） 10：00～12：00

会場：庄内町文化創造館「響ホール」小ホール

講師：加藤 美穂子 氏（一般社団法人子どもの読書サポートアシード代表理事）

内容：読み聞かせマラソン in 庄内！

第 1 部 読み聞かせマラソン

第 2 部 フォローアップ

受講者：29 名

～ 絵本に関する講演会～

日時：平成 22 年 12 月 3 日（金） 10：00～12：00

会場：遊学館 3 階 第 1 研修室

講師：綱 美恵 氏（株解放出版社 編集）

内容：普段読んでいる絵本ができるまでや、そこに込める想いを学び、活動に活かすとともに、山形では触れる機会の少ない「大阪弁」の読み聞かせを学習した。

参加者：83 名

イ 子ども遊学館の開催

子どもの情操を豊かにするため親と子を対象とした事業を開催し、県内の生涯学習のより一層の推進を図るため、子どもたちが遊学館に集い夢のある時間を過ごせるイベントを年度内に 2 回開催した。

人形劇

委託団体：株式会社スーパーキッズ

（神奈川県相模原市南区上鶴間本町 4 - 4 9 - 7）

演 目：音楽の絵本

実施日時：平成 22 年 9 月 5 日（日） 14：00～16：00

会 場：遊学館ホール（定員 300 名）

参 加 者：329 名

音楽影絵劇

委託団体：影絵劇団かしの樹（東京都中央区東日本橋 2 - 1 1 - 5）

演 目：みるコンサート物語「ピーターパン」

実施日時：平成 22 年 12 月 25 日（土）14：00～16：00

会 場：遊学館ホール（定員 300 名）

参加者：343 名

（2） 助成事業

生涯学習活動支援事業

ア 遊学館利用団体への活動支援

遊学館のホール及び研修室を利用して、自発的に行った生涯学習活動に対し、支援を行った。

<実施団体>

- ・山形小説家になろう講座
- ・やまがたおもちゃ病院
- ・劇団ピリーズ
- ・源氏物語を読む会
- ・山形大学理学部

<事業名>

- 山形小説家になろう講座
- シニア世代と子どもの交流拠点「やまがたおもちゃ病院」
- 劇団ピリーズ特別公演「藤森人材派遣サービス」
- 源氏物語を読む
- やまがた科学文化形成シンポジウム

イ 高等教育機関等の学習・文化活動への支援

音楽・演劇及び研究等の成果発表のため、遊学館のホール及び研修室を利用して行う高等教育機関や高等学校の学生・生徒の部活動及びサークル活動を支援した。

<活動名>

- ・山形工業高等学校演劇部第 44 回定期公演
- ・山本学園高等学校演劇部定期公演
- ・山形大学演劇集団舞台工房第 30 回記念公演
- ・山形大学劇団めざましどけい定期公演 A L A R M50『テイク・ザ・マネー・アンド・ラン』
- ・山形大学混声合唱団第 60 回定期演奏会
- ・山形大学吹奏楽団第 51 回春のアンサンブルコンサート
- ・東北芸術工科大学劇団 N o N a m e 定期公演「鈍獣」

ウ 市町村生涯学習事業への支援

市町村（広域行政を含む）及び県内生涯学習・文化施設が実施する生涯学習事業を支援した。

<実施団体>

- ・舟形町教育委員会
- ・村山市教育委員会
- ・小国町教育委員会
- ・庄内町教育委員会
- ・真下慶治記念美術館

<事業名>

- 絵本作家読み聞かせ講演会
- 子どもたちの未来を考える講演会
- 廃校活用による集落活性化検討事業
- 「親子で絵本」講演会
- 体感！「最上川芸術村」講座

- ・生涯学習施設「里仁館」 講座「東北の水環境と最上川」
- ・新庄市雪の里情報館 市民雪セミナー

エ 自作映像教材制作事業への助成

県民の映像学習教材制作を推進するため、山形県視聴覚ライブラリー協議会の事業に助成した。

オ 生涯学習振興ブロック大会への助成

県民の生涯学習に対する理解と普及啓発を目的として生涯学習振興大会の県大会及びブロック大会（最上及び置賜で開催）に助成した。（ブロック大会は、村山・庄内ブロックは実施せず）

カ 教育文化フォーラムへの助成

地域の教育力の向上及び地域文化の子どもたちへの継承を図るため、県内の教職員OBを中心とした教育ボランティアで構成される山形県教育文化フォーラムが行う「子どもの遊び」演出事業に対し助成した。

シニア地域実践活動支援事業（シルバー観光ボランティア事業への助成）

高齢者の資質を活用し地域の学習資源を普及するため、県内9地区の山形シルバー観光ガイドの活動に対し助成した。

「山形学」地域連携講座支援事業

「山形学」（地域学）の振興を図るとともに、県民の学習機会を広げ、地域に根差した生涯学習を推進するため、市町村・団体・高等教育機関等と連携しながら地域学に関する体系的な講座を実施した。

講座数 18 講座 受講者 1,168 名

<実施団体>

- ・山形シシ踊りネットワーク
- ・山形県立霞城学園高等学校
- ・むらやま元気塾市民委員会
- ・特定非営利活動法人みなと研究会
- ・四季の森「しらい自然館」
- ・南陽志立だがしや楽校運営委員会
- ・特定非営利活動法人環境U-ネットやまがた
- ・舟形町文化振興委員会
- ・山形大学都市・地域学研究所
- ・東北文教大学短期大学部
- ・河北郷土史研究会
- ・大石田町教育委員会
- ・西川町歴史文化学習会運営委員会

<講座名>

- 「山形の伝承芸能～シシ踊り～の系譜を探る」
- 「山形ふるさと探訪」
- 「むらやま元気塾 小講座「最上川をめぐる茂吉と芭蕉」」
- 「藻場育成でCO2削減・緑の海中林で地球温暖化防止講座」
- 「おもしろ自然塾「湧水と私たちの暮らし」」
- 「南陽志立だがしや楽校」
- 「山形の河川・湖沼浄化への環境講座」
- 「「おくのほそ道と最上川」地域学講座」
- 「山形の魅力再発見パート8」
- 「民話を「学ぶ」「活かす」「楽しむ」」
- 「河北の歴史と文化を探る」
- 「大石田町民大学「まちの歴史探訪」」
- 「西川町歴史文化学習会「にしかわ学」」

- ・西村山地域史研究会 「山形の歴史を学ぶ」
- ・寒河江市教育委員会 「虹のむらやま見聞楽」
- ・特定非営利活動法人公益のふるさと創り鶴岡 「人とひとを繋ぐ語り部養成・実践講座」
- ・財団法人藤島文化スポーツ事業団 「庄内地方の「医・食・住」を診断する」
- ・南陽市教育委員会 「南陽市民大学講座」

3 県民主体の学習機会の提供

(1) 講座・セミナー・育成事業

「山形学」推進事業

山形の特徴や特性を客観的・学際的にとらえ、山形に生きることの意義や自らのアイデンティティー、地域づくりを考える学習機会として、連続講座を実施したほか、「山形学」の入門編という位置づけで、一般県民を対象としたフォーラムを開催した。さらに、講座やフォーラムの学習成果を深化・拡大するために「遊学館ボックス」を発刊した。

ア 「山形学」講座の開催

テーマ：「地域から世界へ ～山形のモノづくりを通して～」

期間及び会場：平成 22 年 7 月 17 日（土）～9 月 25 日（土）年 6 回

於：遊学館、他

受講者 78 名

7 月 17 日（土） 「織る」

開講式

コーディネーター	東北文教大学短期大学部教授	菊地 和博氏
講師	オリエンタルカーペット株式会社 代表取締役社長	渡辺 博明氏
	株式会社織元山口代表取締役	山口 英夫氏

7 月 24 日（土） 「挑む」* 現地学習

コーディネーター	山形大学人文学部教授 高畠町農業委員	松尾 剛次氏 本田香奈子氏
現地講師	加茂水族館長	村上 龍男氏

< 見学地：加茂水族館、鶴岡市立藤沢周平記念館 >

8 月 7 日（土） 「履く」

コーディネーター	東北文教大学短期大学部教授	阿部 康子氏
講師	元山形県立米沢女子短期大学教授 宮城興業株式会社代表取締役 阿部産業株式会社取締役社長	山水 きぬ氏 高橋 和義氏 阿部 弘俊氏

8 月 21 日（土） 「挑む」* 現地学習

コーディネーター	東北文教大学短期大学部教授 高畠町農業委員	阿部 康子氏 本田香奈子氏
現地講師	高畠ワイン株式会社代表取締役社長	奥山 徹也氏

<見学地：オリエンタルカーペット工場、高畠ワイナリー>

9月11日(土) 「巧む」

コーディネーター	山形大学人文学部教授	松尾 剛次氏
講師	有限会社鑄心ノ工房代表	増田 尚紀氏
	株式会社天童木工元開発部長	菅澤 光政氏

9月25日(土) 「拵う」

コーディネーター	高畠町農業委員	本田香奈子氏
講師	スモークハウスファインオーナー	片平 琢朗氏
振り返りのコーディネーター	東北芸術工科大学芸術学部教授	片桐 隆嗣氏

閉講式

イ 「遊学館ブックス」の発刊

平成21年度に実施した「山形学」講座「観る光らす 山形」の講座内容をまとめ、「遊学館ブックス」として発刊し、関係機関に送付をした。

ウ 「山形学フォーラム」の開催

「山形学」の普及を図り、その入門編という位置づけで、より多くの県民が「山形学」を知る機会として、一般県民を対象としたフォーラムを開催した。

日時：平成22年6月19日(土) 13:00～16:30

場所：遊学館

参加者：124名

内容：

(1) 基調講演

演題 「知られざる東北の技」

講師 ノンフィクション作家 野添 憲治氏

(2) シンポジウム「地域から世界へ ～山形のモノづくりを通して～」

コーディネーター 東北芸術工科大学芸術学部教授 片桐 隆嗣氏

コメンテーター ノンフィクション作家 野添 憲治氏

シンポジスト 山形大学産学連携教授 柴田 孝氏

出羽桜酒造株式会社代表取締役社長 仲野 益美氏

(3) 「山形学」オリエンテーション

「地域学交流集会」開催事業

県内外で独自の目的や方法をもち様々な活動を展開している「地域学」実施団体が集まり、より一層充実した活動を展開するための契機となるよう、「地域学」に関する知識・手法等を学ぶため開催した。

テーマ：「“地域力”をはぐくむ地域学」

日時：平成22年11月13日(土) 10:00～16:30

会場：鶴岡市総合保健福祉センターにこ・ふる(鶴岡市)

受講者：33名

内容：地域の力を育む地域学とはどういうものを学ぶ。

コーディネーター 宇都宮大学教授 廣瀬 隆人 氏
創造ネットワーク研究所代表 成田 浩輝 氏

(1)基調講演：「住民主体の地域づくり - 地域を知り、地域をつくる - 」

大泉太由子氏（東北活性化研究センター主席研究員）

(2)事例学習：「地域を知る・地域に生きる・地域を創る」

事例：南陽志立だがしや楽校運営委員会・山形シシ踊りネットワーク

(3)ワークショップ：「地域資源を見直す・活かす」 施設見学ほか

(4)総括「地域の力を育む地域の学びとは何か」・閉会

「遊学21世紀講演会」開催事業

変貌する現代社会に内在する課題を掘り下げ、最新の情報と分析視点を県民に提供し、将来展望や今後の指標などを探るための講演会を最上会場、村山会場の2ヶ所で開催した。

最上会場

日時：平成22年9月23日（木・祝）13:30～15:00

会場：新庄市市民プラザ 大ホール（新庄市）

参加者：227名

講師：辻井いつ子氏（ピアニスト辻井伸行氏の母）

テーマ：「子どもの才能の見つけ方、伸ばし方～明るく、楽しく、そして諦めない～」

内容：ヴァンクライバーン国際ピアノコンクールで日本人初の優勝を果たした、辻井伸行さんの母、辻井いつ子さんに、子どもの才能をいかに引き出すか、いくつになってもどんな状況でも夢や目標を諦めない生き方についてお聴きした。

村山会場

日時：平成23年2月12日（土）10:30～12:00

会場：遊学館 ホール（本会場）・第1研修室（視聴室）

参加者：324名（本会場）・71名（視聴室）

講師：鳥越俊太郎氏（ジャーナリスト・キャスター）

テーマ：「スーパーポジティブに生きる」

内容：がんと共生しながら報道の最前線で活躍する鳥越俊太郎氏を招き、自身の生き方や働き方など、「生きる」ヒントをお聴きした。

「仙人講座」開催事業

高齢者の生きがい健康づくり及び仲間づくり等のため、「仙人講座」を開講した。

期間：平成22年6月24日（木）～平成22年12月15日（水） 年7回

場所：遊学館

受講者：291名（うち修了者数：253名） 公開講座43名（2回合計）

開催内容

第1回 6月24日(木) 13:20~16:10

開講式

第1部:「オシャレは人生そのものである!」

フランソワーズ・モレシャン氏(ファッション・エッセイスト)

第2部:遊学館開館20周年記念コンサート 山形交響楽団弦楽四重奏

第2回 7月16日(金) 13:30~16:10

第1部:「言葉と出会う、人と出会う」遠藤泰子氏(フリーアナウンサー)

第2部:「温泉で楽しく健康づくり」

片桐進氏(日本温泉気候物理医学会認定温泉療法専門医)

第3回 8月26日(木) 13:30~16:00

第1部:「笑いに勝る良薬なし」瀧川鯉昇氏(真打ち落語家)

第2部:仙人講座20回記念寄席 瀧川鯉斗氏(二ツ目)瀧川鯉昇氏(真打ち)

第4回 9月24日(金) 13:30~16:10【公開講座】

第1部:「偉大な自然の実感が地球を救済する」月尾嘉男氏(東京大学名誉教授)

第2部:「和を楽しむとびきりの毎日」

きくちいま氏(エッセイスト・イラストレーター)

第5回 10月21日(木) 13:30~16:10【公開講座】

第1部:「今、私たちが出来ることはなにか」櫻井よしこ氏(ジャーナリスト)

第2部:「庄内映画村設立経緯と経済効果」

宇生雅明氏(庄内映画村株式会社代表取締役社長)

第6回 11月24日(水) 13:30~16:15

第1部:「夢を追いかけて~ピアノカと私~」松田昌氏(名古屋音楽大学客員教授)

第2部:「山形の酒 最先端のはなし」

小関敏彦氏(県工業技術センター研究主幹兼酒類研究科長)

第7回 12月15日(水) 13:30~15:30

第1部:「一生勉強 一生青春 ~父 相田みつをを語る~」

相田一人氏(相田みつを美術館館長)

閉講式

シニア社会参画支援事業

「団塊の世代」が退職後に、積極的に仕事や地域活動などの社会参画の実践を促進するため、「おもちゃドクター養成講座」を開催した。

おもちゃドクター養成講座

【視察】

日時:平成22年7月17日(土)

会場:遊学館(山形市) 視察先:やまがたおもちゃ病院

受講者:19名 ほか講師1名

内容:やまがたおもちゃ病院についての事前説明と見学

【養成講座】

日 時：平成 22 年 7 月 31 日(土)・8 月 1 日(日)

会 場：鶴岡市総合保健福祉センターにこ・ふる(鶴岡市)

受講者：29 名 ほか講師 1 名・アシスタント 2 名・サポート 4 名

内 容：講義・実習・修理会

やまがたおもちゃ病院 会場：遊学館(山形市)

平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月まで毎月 1 回開院(原則、第 3 土曜日)

やまがたおもちゃ病院(庄内地区)

会場：鶴岡市総合保健福祉センターにこ・ふる(鶴岡市)

平成 22 年 11 月～平成 23 年 3 月まで毎月 1 回開院(原則、第 1 日曜日)

遊学館 20 周年記念事業

遊学館の開館 20 周年を記念し、「遊学 21 世紀講演会」や「子ども遊学館」並びにチェリアフェスティバルの事業の一部と連携して記念事業を行ったほか、記念シールを作成し、遊学館の開館 20 周年の P R を行った。

【受 託 事 業】

1 主体的な生涯学習活動への支援・連携

(1) 調査・資料収集事業

「山形ふるさと塾」推進事業

「山形ふるさと塾」アーカイブスサイトを活用し、県が実施する「山形ふるさと塾」事業の活動に関する映像や画像を記録し、インターネットを通じて公開していくことにより、将来にわたっての「山形ふるさと塾」の活動を推進するとともに、運営委員会を開催し、サイトの充実化を検討した。

2 施設の利用促進と県民サービスの向上

(1) 施設管理事業

県民の生涯学習活動としての利用に供するために、適正な運営管理を行ったほか、県民の生涯学習活動等の場として、広く親しまれ活用されるよう、適正な貸館運営業務を行った。

(2) その他

県民のインターネット利用普及を図るため、公共用端末を配置し、県民の利用に供した。

・利用者数 2,119 名

文化振興部門（山形県郷土館「文翔館」）

【自主事業】

1 文化力の向上を目指した文化事業の全県的展開

(1) 助成事業

文化団体等連携支援事業

県と連携し、県内文化施設や芸術文化団体の活動に対し、経費の一部を支援した。

アート・サポート事業

県民の文化活動の活性化を図るため、県内文化団体が実施する先進的・創造的・モデル的で広く県民に公開される発表事業や、研修事業等に係る経費の一部を支援した。

44 件の応募団体があり、うち、22 件に助成金を交付。

- ・「SUPER DYNAMITES YAMAGATA ヒップホップダンス創造プロジェクト」/スタジオブリリアン

平成 22 年 4 月 1 日(木)～8 月 4 日(水) 山形市内・山形県民開館・LA レッド ロック

参加者数 2,000 人

- ・第 5 回いのちのコンサート～森と水そして月光のしらべ～ / 第 5 回いのちのコンサート～森と水そして月光のしらべ～実行委員会

平成 22 年 6 月 12 日(土) 櫛引総合運動公園野外ステージ

参加者数 450 人

- ・ナトコ映画研究 / 特定非営利活動法人山形国際ドキュメンタリー映画祭

平成 22 年 6 月～23 年 3 月 県内各地

- ・第 17 回山形県ふれあい書道展 / 山形県民書道会

平成 22 年 6 月 26 日(土)～7 月 4 日(日)

参加者数 2,737 人

- ・TENDO JONDANA FESTIVAL ' 10 / 天童ジャズフェスティバル実行委員会

平成 22 年 7 月 25 日(日) 天童市わくわくランド野外ステージ

参加者数 150 人

- ・山形県の芸術文化「芸文会議」の発行 / 山形県芸術文化会議

平成 22 年 8 月、平成 23 年 3 月 配布先：市町村窓口・文化施設窓口・県芸文会員等

配布部数 1,500 部×2 回

- ・仙山コーラス・ジャンボリー 2010 in YAMAGATA / 仙山コーラス・ジャンボリー

平成 22 年 8 月 1 日(日) 山形テルサ テルサホール

参加者数 219 人

- ・アフィニス夏の音楽祭 2010 山形「芸術の交感：アートプログラム / 学校法人東北芸術工科大学平成 22 年 8 月 17 日(火)～24 日(火) 文翔館前庭・七日町商店街・本町商店

参加者数 48 人

- ・米沢で音楽を！ Okitama Musician Festival (Tama Fes) / Okitama Musician Festival 実行委員会 平成 22 年 9 月 4 日(土) 三條かの記念館

参加者数 260 人

- ・とっておきの音楽祭 in やまがた 2010 / とっておきの音楽祭やまがた実行委員会

平成 22 年 9 月 18 日(土) 山形市七日町大通り一帯

参加者数 3,700 人

- ・女性合唱団上山こまくさ第 13 回定期演奏会 / 女声合唱団上山こまくさ

平成 22 年 9 月 20(月) 山形テルサ

参加者数 618 人

- ・ FLYING 庄内 踊ろうぜ！ / ダンスで庄内を元気にする会
平成 22 年 9 月 25 日(土) 湯野浜海岸 参加者数 450 人
- ・ 新庄混声合唱団創立 50 年記念演奏会 / 新庄混声合唱団
平成 22 年 10 月 2 日(土) 新庄市民文化会館 参加人数 785 人
- ・ 銀杏 50 周年記念コンサート / 南陽市合唱団銀杏
平成 22 年 10 月 10 日(日) 南陽市交流プラザ 蔵楽 参加人数 342 人
- ・ タウベンコール 40 周年記念コンサート「第 21 回定期演奏会」 / タウベンコール
平成 22 年 10 月 24 日(日) 山形テルサ テルサホール 参加人数 46 人
- ・ 秋田市山王中学校吹奏楽部交流演奏会 / 山形県吹奏楽連盟
平成 22 年 10 月 31 日(日) 山形テルサ テルサホール 参加人数 280 人
- ・ これが語りだ ~ 東北からの回帰 ~ / 表現舎 刻一刻
平成 22 年 11 月 13 日(土) 鶴岡市中央公民館 市民ホール 参加人数 380 人
- ・ 山形・秋田文化交流フェスティバル第 5 回わらべ唄と民話のつどい / 山形・秋田文化交流
実行委員会
平成 22 年 12 月 11 日(土) 遊学館 大ホール 参加人数 200 人
- ・ 水音 / エッグ・プロジェクト
平成 22 年 12 月 26 日(日) 山形市民会館 参加人数 231 人
- ・ 合唱団じゃがいも第 37 回定期演奏会・東京公演 / 合唱団じゃがいも
平成 22 年 12 月 28 日(土) 山形市中央公民館
平成 23 年 1 月 23 日(日) 東京都葛飾区かめありリリオホール 参加人数 40 人
- ・ 室内オペラの夕べ / 山形オペラ協会
平成 23 年 1 月 15 日(土) 山形市中央公民館ホール 参加人数 20 人

(2) 主催公演事業

芸術文化鑑賞普及事業

ア オペラ創造事業

オペラ小鶴

山形交響楽団及び県内で活動する声楽家によるオペラの実施を予定していたが、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の影響により中止となった。

平成 23 年 3 月 20 日(日) 新庄市民文化会館 公演中止

イ ホリデーコンサート

山響ふれあいコンサート 大石田の秋をみつけよう

楽しい語りとわかりやすい解説で、クラシック初心者も楽しめる山形交響楽団のコンサートを実施した。

平成 22 年 11 月 15 日(月) 大石田福祉会館 入場者数 246 人

ウ みんなで創る楽しいコンサート

山響とみんなで創る楽しい音楽会 in さがえ / 山形交響楽団と、山形県出身の演奏家や地元

の合唱団との共演によるコンサートを実施した。

平成 23 年 2 月 13 日（日） 寒河江市市民文化会館 入場者数 576 人
文翔館創作劇場

文翔館議場ホールや遊学館ホールを利用して県人による創作公演を年 2 回実施した。

ア 和太鼓と歌の出会い（会場：中庭）

平成 22 年 8 月 28 日（土） 入場者数 198 人

イ Viva!Women ～茨木のり子を歌う～

平成 23 年 3 月 5 日（土） 入場者数 203 人

2 文化振興拠点としての郷土館（文翔館）の活性化

(1) 調査・資料収集事業

文化推進事業

文化事業を効果的に推進するため、事業の PR、関係機関・団体等との連携、及び情報の収集等の調整事業等を行った。

(2) 助成事業

文翔館文化活動支援事業

山形県郷土館を活用した県民の文化事業に対し、財団として積極的に共催し、施設利用面での支援を行うことで、県民の文化活動機会の拡充を図った。

・アンサンブルだよ！全員集合 vol.2 パストラレー室内合奏団

平成 22 年 4 月 1 日（木） 入場者数 103 人

・クラシック演奏会 三浦克之

平成 22 年 4 月 3 日（土） 入場者数 170 人

・合唱団じゃがいも文翔館コンサート 合唱団じゃがいも

平成 22 年 5 月 23 日（日） 入場者数 200 人

・ザ・フラワーデザイナーズ作品展 7th ステージ"蒼" ザ・フラワーデザイナーズ

平成 22 年 5 月 22 日（土）～23 日（日） 入場者数 700 人

・高瀬の仲間たち

平成 22 年 6 月 3 日（木）～6 日（日） 入場者数 500 人

・ふれあいコンサート アトリエオアシス 斉藤葉子

平成 22 年 7 月 11 日（日） 入場者数 170 人

・魂を求めて 箏コンサート松坂尚子と箏合奏団 連 「魂を求めて」箏コンサート実行委員会

平成 22 年 8 月 28 日（土） 入場者数 135 人

・第 15 回 書泉会書展 書泉会

平成 22 年 9 月 15 日（水）～19 日（日） 入場者数 550 人

・凧 ～女声アンサンブルの輪舞曲～ 声楽アンサンブル凧 - R i n g -

平成 22 年 8 月 29 日（日） 入場者数 123 人

・KS フォトクラブ写真展 KS フォトクラブ

平成 22 年 8 月 29 日 (日) から 9 月 5 日 (日)

- ・第 19 回 邑玄会書展 邑玄会

平成 22 年 9 月 7 日 (火) ~ 12 日 (日)

- ・きもの de おでかけ文翔館ルンルンコンサート きもの de おでかけ実行委員会

平成 22 年 9 月 11 日 (土)

入場者数 215 人

- ・高橋直子と愉快的仲間たちのティータイムコンサート ティータイムコンサート実行委員会

平成 22 年 9 月 19 日 (日)

入場者数 260 人

- ・国際音楽の日記念コンサート 山形音楽振興会

平成 22 年 9 月 23 日 (木)

入場者数 153 人

- ・布谷史人マリンバリサイタル

平成 22 年 9 月 24 日 (金)

入場者数 159 人

- ・音楽のかけはしコンサート NPO 山形の音楽活動を応援する会 M・プロジェクト

平成 22 年 9 月 26 日 (日)

入場者数 114 人

- ・山形弦楽四重奏団 第 37 回定期演奏会 山形弦楽四重奏団

平成 22 年 10 月 11 日 (月)

入場者数 86 人

- ・第 26 回 成栄現代書展 成栄会

平成 22 年 12 月 9 日 (木) ~ 12 日 (日)

入場者数 350 人

- ・多文化交流コンサート 国際ロータリー第 2800 地区山形米山学友会

平成 23 年 2 月 13 日 (日)

入場者数 184 人

- ・山形県出身者新人演奏会 山形県出身者新人演奏会実行委員会

平成 23 年 3 月 6 日 (日)

入場者数 50 人

- ・やまがたカルチャー & スポーツセンター書道講座作品展

平成 23 年 3 月 17 日 (木) ~ 21 日 (月)

入場者数 300 人

- ・山形北高等学校音楽科第 41 期生ステップコンサート 山形北高等学校音楽科第 41 期生

平成 23 年 3 月 20 日 (日)

公演中止

青少年文化活動支援事業

文翔館議場ホールやギャラリーを高等学校文化クラブ等の活動発表の場として広く提供することで、本県青少年の文化活動促進を支援した。

- ・マンドリン部第 34 回定期演奏会 / 山形県立山形北高等学校 マンドリン部

平成 22 年 7 月 17 日 (土)

- ・山形西高文化部合同展 / 山形県立山形西高等学校 写真部、美術部、書道部、華道部

平成 22 年 7 月 17 日 (土) ~ 19 日 (月)

- ・第 45 回山形県立山辺高等学校マンドリン部定期演奏会 / 山形県立山辺高等学校 マンドリン部 平成 22 年 8 月 3 日 (火)

- ・全日本合唱コンクール山形県大会へむけた合唱練習 / 山形県立東高等学校 音楽部

平成 22 年 8 月 4 日 (水)

- ・第33回音楽祭 / 山形城北高等学校
平成22年10月19日(火)
- ・村山地区高等学校写真部入賞作品展 / 村山地区高等学校 写真専門部
平成22年11月18日(木) ~ 21日(日)
- ・山形西高美術部西美展 2011 / 山形県立山形西高等学校 美術部
平成23年1月21日(金) ~ 23日(日)

アフィニス文化財団との共催事業

わが国のプロ・オーケストラの向上発展を願い、世界の一流オーケストラで活躍する演奏家を講師として、国内のプロ・オーケストラ団員を対象とするワークショップやセミナーを行いその成果発表としての演奏会、「アフィニス夏の音楽祭」の山形演奏会をアフィニス文化財団との共催で開催した。

- ・アフィニス夏の音楽祭 2010 山形
 - <公開セミナー> 文翔館ギャラリー1~8、文翔館議場ホール
平成22年8月17日(火) ~ 20日(金)
 - <夏の夜の文翔館中庭コンサート ホルン・金管アンサンブル> 文翔館中庭
平成22年8月18日(水)
 - <室内楽演奏会> 文翔館議場ホール
平成22年8月23日(月)(開演19時)
 - <ランチタイムコンサート> 文翔館議場ホール
平成22年8月23日(月)、24日(火)(開演12時20分)

(3) 博物館等の展示事業

文翔館企画展

文翔館開館15周年記念特別企画展として、高橋由一の描いた「山形市街図」や「三島県令道路改修記念画帖」、菊地新学の撮影した「県庁前通り」の写真などを展示した。

- ・高橋由一の「山形市街図」展
平成22年10月2日(土) ~ 10月24日(日) 文翔館ギャラリー5~8 入場者数 2,517人
- ・特別記念講座 「山形市街図 ~ 高橋由一と長谷川竹葉」
講師：小林 俊介氏(山形大学地域教育文化学部 准教授)
平成22年10月17日(日) 文翔館ギャラリー6 入場者数 42人

共催企画展

昭和館の巡回企画展の一会場として、文翔館での展示を共催して行った。

- ・語り伝えたい戦中・戦後の暮らし
平成22年10月30日(土) ~ 11月7日(日) 文翔館ギャラリー1~8
入場者数 4,734人

文翔館収蔵品展

文翔館の収蔵品を広く県民に紹介するため、文翔館ギャラリーにおいて、特徴のあるコレクションを展示した。

・レトロな山形 絵はがき展

平成 22 年 7 月 8 日（木）～8 月 10 日（火） 文翔館ギャラリー5～8 入場者数 3,471 人

・写真展 山形の洋館を巡る

平成 23 年 2 月 18 日（金）～3 月 15 日（火）文翔館ギャラリー1～3 入場者数 1,870 人

(4) 主催公演事業

文翔館芸術劇場

文翔館議場ホールや中庭を会場に、著名な音楽家等による多様なジャンルの公演を開催し、芸術文化に触れる機会の充実を図った。

ア 上松美香アルパ・コンサート 2010 nova ～ノーヴァ～

平成 22 年 6 月 18 日（金）

入場者数 187 人

イ 下條アトムひとり芝居「思ヒ出二、タダイマ！」(会場：遊学館ホール)

平成 22 年 9 月 17 日（金）

入場者数 229 人

ウ X U X U ア・カペラ コンサート

平成 22 年 10 月 16 日（土）

入場者数 195 人

エ 神尾真由子&ミロスラフ・クルティシェフ 2010 年 デュオ・リサイタル

平成 22 年 11 月 12 日（金）

入場者数 202 人

オ ケルティック・クリスマス 2010 in 文翔館

平成 22 年 12 月 12 日（日）

入場者数 221 人

カ 中村紘子 クリスマスコンサート

平成 22 年 12 月 22 日（水）

入場者数 213 人

キ N 響メンバーによるアンサンブルコンサート 弦楽五重奏&ホルン

平成 23 年 2 月 6 日（日）

入場者数 121 人

【受託事業】

1 施設の利用促進と県民サービスの向上

(1) 施設管理事業

郷土館管理運営事業

ア 施設及び収蔵品の保存管理

貴重な歴史的建築物である県郷土館及び県政史緑地について常に良好な状態で保つよう細心の注意を払って管理を行った。また、郷土館に収蔵されている多数の文化的資料について、文化財保存の基本的考え方にに基づき適切な保存管理を行った。

イ 施設及び設備の維持管理

国の重要文化財である県郷土館が、良好な状態で次世代に継承されるよう、施設及び設備の状態を常に把握し、適切な維持管理を行った。

ウ 施設を活用した貸館運営

県民の文化活動の場として広く親しまれ活用されるよう、適正な貸館運営業務を行った。

エ ガイドボランティア運営

- ・ガイドボランティア登録者 平成 23 年 3 月 31 日現在 128 名
- ・ガイドボランティア 5 期生養成
 - 7 期の養成講座を実施し 28 名が新規登録となり、平成 23 年 1 月から活動を開始した。
- ・研修会
 - 5 期生養成講座及び文翔館の日記念シンポジウムを研修会と合わせて実施。
- ・現地研修会
 - 平成 22 年 5 月 25 日（火）
 - 山形市内街歩き（水の町屋七日町御殿堰、山形まるごと館、三の丸土塁跡、山形まなび館）参加者数 46 人
 - 平成 22 年 7 月 5 日（火）
 - 庄内映画村、庄内映画村資料館、藤沢周平記念館参加者数 66 人
- ・ガイドボランティア作品展
 - 幅広い趣味を持つガイドボランティアの作品発表の場として第 6 回ガイドボランティア作品展を開催した。
 - 平成 23 年 2 月 18 日（金）～3 月 6 日（日） ギャラリー 5～8入場者数 696 人
- オ 広報誌の発行
 - 広報誌「文翔館」を年 2 回発行した。
- カ 文翔館の日記念事業
 - 開館 15 周年の節目の年を記念し、10 月 2 日（土）文翔館の日を中心に、記念イベントや特別企画展を実施した。
 - ・記念シンポジウム
 - 基調講演「建築の近代化遺産と文翔館」 講師 / 藤森照信氏
 - 議場ホール入場者数 150 人
 - ・時計塔内部見学会参加者数（一般公募）15 人
 - ・特別企画展 「高橋由一の山形市街図展」
 - 平成 22 年 10 月 2 日（土）～10 月 24 日（日） ギャラリー 5～8入場者数 2,517 人
 - ・記念講座 「山形市街図～高橋由一と長谷川竹葉」 講師/小林俊介氏
 - 平成 22 年 10 月 17 日（日）入場者数 42 人
 - ギャラリー 6
 - ・時計塔記念誌「聞き書き 文翔館の時計塔ものがたり」の発刊

男女共同参画部門（山形県男女共同参画センター「チェリア」）

【受託事業】

1 男女共同参画社会を形成するための事業の展開

(1) 講座・セミナー・育成事業

学習・研修事業

男女共同参画の実現に資する各種研修会や講座を開催した。

講座等開催時には、参加者が託児できるよう保育士を配置した。

（配置回数： 11 回、 配置保育士数： 27 名、 託児数： 57 名）

ア 女性リーダー育成事業

a 「チェリア塾 in 庄内」の開催

地域で活動する団体やグループの女性リーダーを育成するエンパワーメントセミナーを5回のコースで開催し、女性リーダーの力量アップと地域の元気づくりを目指した。 受講者数 27 名

第1回 平成22年6月12日（土）

「自分に地域に必要なこと～男女共同参画の視点から～」 講師：伊藤真知子

第2回 平成22年7月10日（土）

「問題解決力アップ講座」 講師：齋藤亜紀

第3回 平成22年8月21日（土）

「私もあなたも大切に自己表現講座」 講師：中野満知子

第4回 平成22年9月11日（土）～12日（日）

・パネルディスカッション 「地域の実践者から学ぶ」

コーディネーター： 江口暢子

パネラー： 小野寺美佐子 佐藤香奈子 坂本静香

・「思いを伝えるプレゼンテーション講座」 講師：阿部康子

第5回 平成22年11月13日（土）

「私の社会参画～チェリア塾修了生に聞く～」

発表者：有川富二子 小松早苗 石澤多貴子

b 「チェリア塾マスターコース」の開催

チェリア塾修了生を対象に、地域の現状を把握し、プログラムを作成・立案・運営できる力を更に向上させるためのマスターコースを実施し、修了生を「チェリア・ファシリテーター」として認定した。

受講者数：16名 講師：川中 信

第1回 平成22年5月15日（土）

・ワークショップ実施のプログラム決定

・実践プログラム案作成、役割分担決定

第2回 平成22年6月10日（木）

・山形県母親委員会を対象に企画したプログラムを実施

第3回 平成22年7月7日(水)

- ・山形大学学生を対象に企画したプログラムを実施

第4回 平成22年10月23日(土)

- ・行政職員(東北まちづくりオフサイトミーティング)を対象に企画したプログラム実施

第5回 平成22年11月20日(土)

- ・今年度実施のプログラム内容の振り返り

イ 男性セミナー事業

「パパだって楽しんで子育て」

期日：平成23年2月19日(土) 会場：遊学館 受講者数 81名

講師：安藤 哲也 (特定非営利活動法人 ファザーリング・ジャパン代表)

ウ 男女共同参画週間記念事業

男女共同参画社会基本法の公布施行を記念して設けられた男女共同参画週間(6月23日~29日)に、遊学館1階ギャラリーにおいてパネル展示を実施するとともに、ラジオキャンペーンを行った。

又、「2010 男女共同参画週間事業 シネマ&トーク THE ダイエット」を7月2日 昼、夜の2回実施した。(場所：チェリア学習室 参加者：29名)

エ 中学・高校教育における男女共同参画学習推進事業

中学・高校期に男女共同参画の意識を醸成するため、学校教育との連携のもとに、生徒にとっても身近な問題である男女共同参画について考える学習事業を实践する。そのため、学校男女共同参画学習ノート『つながる ひらく 私の未来づくり 共に生きる社会へ』を県内中学1年生に配布、その活用について学校等に依頼し、男女共同参画社会の推進に努めた。

オ チェリア・パープルリボン・プロジェクト

「女性に対する暴力をなくす運動」(11/12~11/25)において、女性への暴力ゼロをめざし、私たちにできることを意思表示するとともに、防止への理解を深める事業を実施した。

a パープルリボンの木&パネル展示 期間：11月11日(木)~20日(土)

会場：遊学館

b シネマ上映とトーク(BPW山形との共催)

「レイ 初めての呼吸」 期日：11月6日(土)

会場：遊学館

参加者数 27名

講師：井上聡子氏(婦人科医)

c 講演会 「デートDV~その時あなたにできること」

期日：11月27日(土)

会場：遊学館

参加者数 26名

講師：ビッグママさん（被害経験者の家族）

団体活動支援・交流事業

男女共同参画社会の実現に向けて活動している団体・グループの活動支援、交流の活性化を図った。

ア 団体・グループ活動活性化事業

a ネットワーク会議

男女共同参画センターの利用と利用者間の交流を促進するため、センターへの登録制度を設け、団体・グループ間の情報交換及び連携を図るためのネットワーク会議を開催。

平成 23 年 3 月 5 日（土）

参加団体 34 団体
（チェリア登録団体 69 団体）

b 印刷室の運営

団体・グループ等の機関誌、会報等の作成を支援するための印刷室を運営した。

延べ利用団体数 135 団体

イ 男女共同参画フェスティバル・10 周年記念事業の開催

男女共同参画社会づくりに関する普及啓発と気運の醸成及び団体・グループの活動発表と県民との交流を目的に、「すすめよう・共に未来へ・ワークライフバランス」をテーマに、チェリアを利用する団体・グループが実行委員会を組織して企画運営する「チェリアフェスティバル山形 2010」を開催した。

また、男女共同参画センター10周年記念事業として「男女共同参画推進のためのキャッチフレーズ募集」を実施及び10周年記念誌を発行したほか、記念缶バッジを作成した。

a チェリアフェスティバルの開催

期 日： 平成 22 年 10 月 17 日（日） 会場：遊学館 参加者数 延べ 3,826 名

記念講演： 「この世に生まれ、生きて、生かされて…

～あと一步前へ踏み出したいあなたへ～」

講師：家田莊子氏（作家、高野山真言宗僧侶）

アトラクション、ワークショップ、ふれあいコーナー、展示発表等

b 10 周年記念事業 「男女共同参画推進のためのキャッチフレーズ募集」実施及び

10 周年記念誌の発行

・「男女共同参画推進のためのキャッチフレーズ募集」

チェリアフェスティバル開催時に表彰式を行った。

応募総数：426 点

最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点、特別賞 3 点、審査員特別奨励賞 1 校

・10 周年記念誌を発行した。

ウ チェリア d e カフェの開催

チェリアの賑わいづくりを目的に公募で選ばれた実行委員の企画運営による

原則

月 1 回（第 2 水曜日）のチェリア de カフェを開催した。

4 月～3 月 11 回の開催 会場：チェリア団体活動室他 参加者数 延べ 254 名

(2) 調査・資料収集事業

情報収集・提供事業

ア 学習支援図書等整備事業

男女共同参画に関する図書・ビデオ・パネル・資料等の収集と情報検索用パソコン 2 台を配置し、閲覧及び貸し出しを通して県民の学習への支援を行った。

・ 所蔵状況 図書 3787 冊、ビデオ 349 本

・ 貸出状況 図書 320 冊、ビデオ 190 本

・ インターネット利用状況 7 件

イ 広報啓発事業

a 広報誌「チェリア」の発行

男女共同参画センターの事業や男女共同参画に関する話題を県民に周知・提供する広報誌「チェリア」を発行した。（広報誌の発行：年 3 回、各 6,000 部）

b ホームページ開設

ホームページを開設し、センター事業等の広報と山形県男女共同参画計画の紹介を行った。

また「チャレンジ応援サイトやまがた」のページの管理を行い、チャレンジ事例の充実等を図った。

c ラジオによる広報

男女共同参画週間（6 月 23 日～29 日）にラジオキャンペーンを行い、男女共同参画に関する広報啓発を図った。

d ポスター掲示板的設置

山形駅東西自由通路（アピカ）に山形県生涯学習文化財団管理下の 3 館（遊学館、文翔館、チェリア）共用の掲示板を設置し、チェリア及び共催団体の催事ポスターを掲示した。

調査・研究事業

県内の団体・グループ等が行う男女共同参画に関する調査・研究活動の支援、指導助言を行った。

(3) 助成事業

ア 男女共同参画人材育成事業

a 講師派遣事業

地域での男女共同参画に関する講演・研修会等に対し講師を派遣した。

（派遣講師数：8 名、受講者数：442 名）

b 研修派遣事業

県外で行われる男女共同参画に関する研修会やセミナー等への参加者に対する支援を

行った。

(派遣人員： 1名、 派遣先：国立女性教育会館等)

イ 男女共同参画地域講座

村山、最上、置賜、庄内地区において、地域で活動している団体・グループ及び市町村と連携して講演会等を開催し、男女共同参画社会づくりの重要性についての普及啓発を行った。

a 村山地域講座(寒河江市ハートフルセンター)

期日：平成22年9月25日(日)

参加者数 280名

演題：「自分らしく生きる」

講師：石川 牧子(日テレ学院学院長)

b 最上地域講座(大蔵村中央公民館)

期日：平成22年11月7日(日)

参加者数 320名

演題：「ジャガー流 出産・健康・教育」(トークショー)

講師：ジャガー横田(女子プロレスラー)

沢田 美香(MC)

c 置賜地域講座(南陽市中央公民館(えくぼプラザ))

期日：平成22年6月23日(水)

参加者数 180名

演題：「私は走り続ける」～これからの日本をもっと元気にするために～

講師：宮原 美佐子(ソウルオリンピック女子マラソン日本代表)

d 庄内地域講座(遊佐町生涯学習センター)

期日：平成22年8月28日(土)

参加者数 472名

演題：「ストレスに負けず元気に暮らす」

講師：香山 リカ(精神科医、立教大学教授)

ウ 県民企画事業

男女共同参画関連講座、講演会等の開催や、各種調査・研究等、県民の学習機会を広げる企画を募集し、優れた企画の提案者に対し、実施にかかる経費を助成し、チェリアと連携して事業を実施した。

a 事業名：生きる力を紡ぐ総合講座 演劇、文学、音楽そして落語まで

団体名：川西町演劇研究会

期日：平成22年11月28日(日)

会場：南陽市文化交流館「蔵楽(くらら)」

受講者数 102名

b 事業名：男と女 それぞれの暮らしの中の男女共同参画

～生活・活動事例、意見・提言の募集と意見交換会の開催～

団体名：新やまがたひゅーまんらいふフォーラム(ニール・フォーラム)

募集期間：平成22年7月～22年9月

応募数 12編、入選数 7編

意見交換会：平成22年11月23日(火)

c 事業名：家族みんなで楽しもう！「山形子どもミュージアム」

- 団体名：子育てサークル 小さなおもちゃばこの会
期 日：平成 22 年 9 月 19 日（日）
会 場：大石田町立大石田小学校 受講者数 334 名
- d 事業名：いまさら聞けない大人の社会学
（地方自治体の決算はどうなっているの？ 執行率ってなあに？）
団体名：桜桃（チェリア）の会
期 日：平成 22 年 11 月 14 日（日）、11 月 28 日（日）
会 場：チェリア学習室 受講者数 26 名
- e 事業名：男女でつくる米粉料理の普及拡大事業
団体名：山形県農村生活研究グループ協議会
期 日：平成 23 年 3 月 11 日（金）
会 場：山形市鈴川公民館 受講者数 56 名
- f 事業名：COCORO COTOBABA 幸せプロジェクト
団体名：こころ ことば ネットワーク
期 日：平成 22 年 12 月 4 日（土）、12 月 5 日（日）
会 場：ビッグウイング 受講者数 122 名
- g 事業名：女と男・かがやいて生きよう さんの会は応援団
団体名：さんの会
期 日：平成 22 年 8 月 8 日（日）、11 月 21 日（日）、12 月 12 日（日）
会 場：遊学館第 1 研修室、嵯蔵 受講者数 195 名
- h 事業名：次世代を担う女性研究者による未来予想図
～元気な女子が世界を変える～
団体名：日本化学会東北支部
期 日：平成 22 年 11 月 19 日（金）
会 場：山形大学 理学部 受講者数 115 名
- i 事業名：親子関係が楽に楽しくなる素敵なお方法
～泣きたいときにはないちゃおう！～
団体名：CAPやまがた
期 日：平成 22 年 9 月 18 日（土）
会 場：チェリア学習室 受講者数 14 名
- j 事業名：親業で、ココロをかるくしよう
団体名：山形親業の会
期 日：平成 22 年 9 月 11 日（土）、9 月 12 日（日）、10 月 30 日（土）
会 場：チェリア学習室、米沢市グループホーム結いのき
山形市市民活動支援センター 受講者数 87 名
- k 事業名：お父さん・おじいちゃんのための読み聞かせで知る子どもの世界
団体名：スプーンの会

期 日：平成 23 年 1 月 30 日（日）

会 場：上山市立図書館視聴覚室

受講者数 88 名

(4) 相談・助言事業

相談事業

相談専用の電話を設置し、自分らしく、自立して生きていく上で生じる様々な問題を一緒に考え、解決の方向を見つけるための相談を実施した。

ア 一般相談

2名の相談員を配置し、ライフステージに応じた女性の生き方、家族・人間関係等、女性に限らず、広く生活全般にわたる悩みについての相談に応じた。

電話相談件数：504件（昨年度 455件） 面接相談件数：223件（昨年度 253件）

関係機関その他：86件（昨年度 69件） 合計：813件（昨年度 777件）

イ 専門相談

弁護士、カウンセラー等による法律相談、こころの相談を実施した。

【法律相談】 （毎月第2・4木曜日） 相談件数：58件（昨年度 63件）

【こころの相談】 （毎月第2・4日曜日） 相談件数：94件（昨年度 109件）

ウ 再就職のためのキャリア・カウンセリング&ワークショップ

a キャリア・カウンセリング

キャリアカウンセラーによる再就職支援のためのキャリア・カウンセリングを実施した。

毎月第1土曜日 全12回 相談件数 45件（昨年度 38件）

b ワークショップ

自己理解ツール「ライフコンパス」を用いて自らのキャリア開発を行った。

7/24（土）、9/25（土）、1/22（土）の3回実施 参加者数数 16名

エ 女性の悩みに関する研修会

a こころの研修会

相談事業から見えてくる悩みごとに関するテーマをとりあげた研修会を庄内、置賜地域で実施した。

テ ー マ：「中年期の光と影」

～自分の人生をふりかえり新しいスタートをきる時～

期日・会場：8月5日（木） 鶴岡市女性センター 受講者数 58名

8月6日（金） 置賜総合支庁 受講者数 34名

講 師： 森岡由起子（大正大学人間学部教授）

b 相談機関実務者研修会

相談機関で相談業務に携わっている実務者を対象に、「男女共同参画の視点での対応」を学び、活用していただくための研修会を開催した。

期 日：9月15日（水） 会場：遊学館 受講者数 83名

テーマ1：「子ども・女性安全対策について」

講師：武田 伸一（県警察本部生活安全部生活安全企画課 管理官）

テーマ2：「DV被害のトラウマ」

～相談への対応と援助者のメンタルヘルス～

講師：小西 聖子（武蔵野大学人間関係学部教授）

ワーク・ライフ・バランスの推進事業

a 企業や地域で活動している団体等にワーク・ライフ・バランス推進アドバイザーを派遣し、ワーク・ライフ・バランスに関する意識の啓発と取組の促進を図った。

企業・団体等訪問 58事業所（延べ117回）

b 県内に配置されたアドバイザーの研修会を実施した。

期 日：平成22年11月24日（水）

テーマ：「女性のチカラは企業の力普及推進事業について」

講 師：宮城県環境生活部共同参画社会推進課

男女共同参画推進専門監 猪股 多恵子氏

2 施設の利用促進と県民サービスの向上

(1) 男女共同参画センター企画運営委員会

県民の利用しやすい施設運営を目指して、事業計画や運営について協議した。

・企画運営委員会 13名委嘱（任期 平成21年4月1日～平成23年3月31日）

・委員会開催 2回 平成22年6月26日（土） 23年2月6日（日）

(2) 施設管理

県民の男女共同参画活動としての利用に供するため、適正な施設管理を行った。

学 習 室	172件	2,721名
団体・グループ活動室	230件	1,072名
託 児 室	88件	439名

(3) その他

職場体験学習の受入れ

山形五中 2年生 2名

羽黒高校 2年生 1名